学校番号	1202

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(学)英語演習Ⅰ	2	2	英検３級をひとつひとつわかりやすく　他自主製作教材 総合英語エンパワー

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・四年制大学、英語系や看護・医療系の短大・専門学校で英語が入試科目にある進学希望者に英語の基礎学力をつけてもらうことが目標です。そのためにまずは、中学校で履修するレベルである英検３級をマスターしてもらう。
・英文読解、文法や語彙、リスニング、ライティングなど、外国語習得のため複数分野の問題に取り組み、英語力の基礎固めをしながら入試問題への対応力がつくように指導する予定である。
・英語学習が日々のルーティンになるくらいに意識を変革してもらう。
・ネイティブ講師との交流のあるアクティブラーニングを経験することによって、「グローバル化が進む日本社会で生きていくためのコミュニケーション力をつける。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	◆ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校、地域など身の回りのことについて理解することができる ◆ゆっくりはっきりと話されれば、買い物や外食などの場面において用いられる表現を理解することができる	◆簡単な語句や表現を使って書かれた個人的に興味のあるトピックに関する文章を読んで、イラストや写真も参考にしながら理解することができる ◆簡単な語句や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる	◆趣味や部活動などの日常的な話題について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる ◆基本的な語句や表現を使って、人を誘ったり、誘いを受けたり断ったりすることができる	◆前もって発話することを準備した上で、身近な話題について簡単な語句や基礎的な表現を使って、複数の文で意見を言うことができる ◆前もって発話することを用意した上で、日常生活に関する事実を、簡単な語句や基礎的な表現を使って複数の文で描写することができる	◆自分の経験について、辞書を用いて短い文章を書くことができる ◆簡単な語句や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・英単語や英文法に関して学んだことを、4 技能（5 領域）において適切に活用することができる。	日常的な話題から社会問題まで幅広い話題について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 英語を聞いたり、読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを伝え合うことができる。	幅広い話題や文化に対する理解を深め、英語を用いて自分の意見や考えなどを主体的に伝え合おうとしている。 日々の授業や実技、定期考査において、目標に向けて粘り強く取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（４分野５領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	技能(領域)	評価規準（達成を目指すべき目標）	評価方法
1	01～02 3 級の重要名詞 ①　②	聞くこと	a: 名詞の様ざまな種類や用途を知る。名詞が何なのか動詞との差異を理解する。 b:カタカナ英語に関して書かれたエッセイを聞いたり読んだりしたことを活用しながら、普段自分が使っているカタカナ語を調べ、整理して、相手にわかりやすいように伝えている。 c: 名詞に関してのエクササイズを通じて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、普段自分が使っている動詞を的確に運用できるようめざす。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: 名詞の様ざまな種類や用途を知る。名詞が何なのか動詞との差異を理解する。 b:カタカナ英語に関して書かれたエッセイを聞いたり読んだりしたことを活用しながら、普段自分が使っているカタカナ語を調べ、整理して、相手にわかりやすいように伝えている。 c: 名詞に関してのエクササイズを通じて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、普段自分が使っている動詞を的確に運用できるようめざす。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: 名詞の様ざまな種類や用途を知る。名詞が何なのか動詞との差異を理解する。 b:カタカナ英語に関して書かれたエッセイを聞いたり読んだりしたことを活用しながら、普段自分が使っているカタカナ語を調べ、整理して、相手にわかりやすいように伝えている。 c: 名詞に関してのエクササイズを通じて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、普段自分が使っている動詞を的確に運用できるようめざす。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: 名詞の様ざまな種類や用途を知る。名詞が何なのか動詞との差異を理解する。 b:カタカナ英語に関して書かれたエッセイを聞いたり読んだりしたことを活用しながら、普段自分が使っているカタカナ語を調べ、整理して、相手にわかりやすいように伝えている。 c: 名詞に関してのエクササイズを通じて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、普段自分が使っている動詞を的確に運用できるようめざす。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: 名詞の様ざまな種類や用途を知る。名詞が何なのか動詞との差異を理解する。 b:カタカナ英語に関して書かれたエッセイを聞いたり読んだりしたことを活用しながら、普段自分が使っているカタカナ語を調べ、整理して、相手にわかりやすいように伝えている。 c: 名詞に関してのエクササイズを通じて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、普段自分が使っている動詞を的確に運用できるようめざす。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	03～04 3 級の重要動詞 ①　②	聞くこと	a: 時制に合わせた動詞の用途を理解する b: 用いた文の形・意味・用法、大きな数字や年号の使い方を考えようとしている。 c: フレーズや生活の中で頻繁に使う動詞を自在に運用できることを目指す。言語、人口などの特徴	リスニング プラクティス

			について、整理して相手にわかりやすいように伝えようとしている。	
		読むこと	a: 時制に合わせた動詞の用途を理解する b: 用いた文の形・意味・用法、大きな数字や年号の使い方を考えようとしている。 c: フレーズや生活の中で頻繁に使う動詞を自在に運用できることを目指す。言語、人口などの特徴について、整理して相手にわかりやすいように伝えようとしている。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: 時制に合わせた動詞の用途を理解する b: 用いた文の形・意味・用法、大きな数字や年号の使い方を考えようとしている。 c: フレーズや生活の中で頻繁に使う動詞を自在に運用できることを目指す。言語、人口などの特徴について、整理して相手にわかりやすいように伝えようとしている。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: 時制に合わせた動詞の用途を理解する b: 用いた文の形・意味・用法、大きな数字や年号の使い方を考えようとしている。 c: フレーズや生活の中で頻繁に使う動詞を自在に運用できることを目指す。言語、人口などの特徴について、整理して相手にわかりやすいように伝えようとしている。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: 時制に合わせた動詞の用途を理解する b: 用いた文の形・意味・用法、大きな数字や年号の使い方を考えようとしている。 c: フレーズや生活の中で頻繁に使う動詞を自在に運用できることを目指す。言語、人口などの特徴について、整理して相手にわかりやすいように伝えようとしている。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	05～06 基本動詞のよくでるフレーズ 動詞の熟語　①	聞くこと	a: 基本となる動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: 動詞と前置詞などの組み合わせで成る熟語を習得する。 c: 練習問題を通じて実際の生活の中でどう使われるかを練習する。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施する。（英検の面接を模して）	リスニング プラクティス
		読むこと	a: 基本となる動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: 動詞と前置詞などの組み合わせで成る熟語を習得する。 c: 練習問題を通じて実際の生活の中でどう使われるかを練習する。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施する。（英検の面接を模して）	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: 基本となる動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: 動詞と前置詞などの組み合わせで成る熟語を習得する。 c: 練習問題を通じて実際の生活の中でどう使われるかを練習する。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施する。（英検の面接を模して）	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: 基本となる動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: 動詞と前置詞などの組み合わせで成る熟語を習得する。 c: 練習問題を通じて実際の生活の中でどう使われるかを練習する。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施する。（英検の面接を模して）	授業課題 授業観察 プラクティス

		書くこと	a: 基本となる動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: 動詞と前置詞などの組み合わせで成る熟語を習得する。 c: 練習問題を通じて実際の生活の中でどう使われるかを練習する。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施する。（英検の面接を模して）	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	中間考査			
	07～08 動詞の熟語　② be proud of など	聞くこと	a: 動詞の熟語を数多く知り、実際に使えることをめざす。 b: 極めて口語的な慣用表現としての動詞の用法について考えようとしている。 c: 練習問題を通じて知識の定着を図る。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: 動詞の熟語を数多く知り、実際に使えることをめざす。 b: 極めて口語的な慣用表現としての動詞の用法について考えようとしている。 c: 練習問題を通じて知識の定着を図る。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: 動詞の熟語を数多く知り、実際に使えることをめざす。 b: 極めて口語的な慣用表現としての動詞の用法について考えようとしている。 c: 練習問題を通じて知識の定着を図る。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: 動詞の熟語を数多く知り、実際に使えることをめざす。 b: 極めて口語的な慣用表現としての動詞の用法について考えようとしている。 c: 練習問題を通じて知識の定着を図る。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: 動詞の熟語を数多く知り、実際に使えることをめざす。 b: 極めて口語的な慣用表現としての動詞の用法について考えようとしている。 c: 練習問題を通じて知識の定着を図る。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	09～10 3 級の重要形容詞 3 級の重要副詞	聞くこと	a: 形容詞の役割は名詞を修飾することであると理解する。 b: 形容詞の中でも感情を表すものについて考えようとしている。 c: 副詞は文全体や動詞を修飾すると理解する。形容詞との混同をしないように区別できるように表現を練習する。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: 形容詞の役割は名詞を修飾することであると理解する。 b: 形容詞の中でも感情を表すものについて考えようとしている。 c: 副詞は文全体や動詞を修飾すると理解する。形容詞との混同をしないように区別できるように表現を練習する。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: 形容詞の役割は名詞を修飾することであると理解する。 b: 形容詞の中でも感情を表すものについて考えようとしている。 c: 副詞は文全体や動詞を修飾すると理解する。形容詞との混同をしないように区別できるように表現を練習する。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: 形容詞の役割は名詞を修飾することであると理解する。 b: 形容詞の中でも感情を表すものについて考えようとしている。 c: 副詞は文全体や動詞を修飾すると理解する。形容詞との混同をしないように区別できるように表現を練習する。	授業課題 授業観察 プラクティス

		書くこと	a: 形容詞の役割は名詞を修飾することであると理解する。 b: 形容詞の中でも感情を表すものについて考えようとしている。 c: 副詞は文全体や動詞を修飾すると理解する。形容詞との混同をしないように区別できるように表現を練習する。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	11～12 接続詞、前置詞 よくでる熟語	聞くこと	a: 接続詞を理解することにより、英文読解力の向上が見込めると知る。 b. 接続詞は文と文を繋ぐ用途として使用されることについて考えようとしている。 c: 前置詞は特段慣れることによる理解、習得が必要であると知り、練習する。 前置詞は熟語でも使われる頻度が高いので熟語とともに知る。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: 接続詞を理解することにより、英文読解力の向上が見込めると知る。 b. 接続詞は文と文を繋ぐ用途として使用されることについて考えようとしている。 c: 前置詞は特段慣れることによる理解、習得が必要であると知り、練習する。 前置詞は熟語でも使われる頻度が高いので熟語とともに知る。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: 接続詞を理解することにより、英文読解力の向上が見込めると知る。 b. 接続詞は文と文を繋ぐ用途として使用されることについて考えようとしている。 c: 前置詞は特段慣れることによる理解、習得が必要であると知り、練習する。 前置詞は熟語でも使われる頻度が高いので熟語とともに知る。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: 接続詞を理解することにより、英文読解力の向上が見込めると知る。 b. 接続詞は文と文を繋ぐ用途として使用されることについて考えようとしている。 c: 前置詞は特段慣れることによる理解、習得が必要であると知り、練習する。 前置詞は熟語でも使われる頻度が高いので熟語とともに知る。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: 接続詞を理解することにより、英文読解力の向上が見込めると知る。 b. 接続詞は文と文を繋ぐ用途として使用されることについて考えようとしている。 c: 前置詞は特段慣れることによる理解、習得が必要であると知り、練習する。 前置詞は熟語でも使われる頻度が高いので熟語とともに知る。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	期末考査			
2	13～14 比較 動詞の形を 選ぶ問題	聞くこと	a: 比較級、最上級の意味・用法を理解する。 b: 比較級、最上級の運用を実生活内でできる。 c: to 不定詞(to ＋動詞の原形) 動詞の現在分詞（～ing ）を的確に使えるように練習する。	リスニング プラクティス

		読むこと	a: 比較級、最上級の意味・用法を理解する。 b: 比較級、最上級の運用を実生活内でできる。 c: to 不定詞(to ＋動詞の原形) 動詞の現在分詞（～ing ）を的確に使えるように練習する。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: 比較級、最上級の意味・用法を理解する。 b: 比較級、最上級の運用を実生活内でできる。 c: to 不定詞(to ＋動詞の原形) 動詞の現在分詞（～ing ）を的確に使えるように練習する。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: 比較級、最上級の意味・用法を理解する。 b: 比較級、最上級の運用を実生活内でできる。 c: to 不定詞(to ＋動詞の原形) 動詞の現在分詞（～ing ）を的確に使えるように練習する。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: 比較級、最上級の意味・用法を理解する。 b: 比較級、最上級の運用を実生活内でできる。 c: to 不定詞(to ＋動詞の原形) 動詞の現在分詞（～ing ）を的確に使えるように練習する。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	15～16 to を使ったいろいろな 文型語順に注意する 動詞	聞くこと	a: It is…to～ の用法を理解する。 b: want 人 to～ tell 人 to～ の用法を習得する。 c: 英語と日本語では語順が異なるが、これを明確に認識すべく日本語と英語の文を比較して理解を深めることを目標とする。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: It is…to～ の用法を理解する。 b: want 人 to～ tell 人 to～ の用法を習得する。 c: 英語と日本語では語順が異なるが、これを明確に認識すべく日本語と英語の文を比較して理解を深めることを目標とする。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: It is…to～ の用法を理解する。 b: want 人 to～ tell 人 to～ の用法を習得する。 c: 英語と日本語では語順が異なるが、これを明確に認識すべく日本語と英語の文を比較して理解を深めることを目標とする。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: It is…to～ の用法を理解する。 b: want 人 to～ tell 人 to～ の用法を習得する。 c: 英語と日本語では語順が異なるが、これを明確に認識すべく日本語と英語の文を比較して理解を深めることを目標とする。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: It is…to～ の用法を理解する。 b: want 人 to～ tell 人 to～ の用法を習得する。 c: 英語と日本語では語順が異なるが、これを明確に認識すべく日本語と英語の文を比較して理解を深めることを目標とする。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	17～18 受け身 現在完了形	聞くこと	a: be 動詞 ＋ 過去分詞が受動態であることを理解していても日本語にした際に能動態的な表現になる場合があるので受動態を使うべきかどうかの判断をできないケースがあるので、それを明確にして習得を目標とする。 b: have ＋ 過去分詞が現在完了であるとの認識ができても、4 種の判別がなかなかできない場合もあるので、文全体の意味を考えようとしている。 c: 過去分詞を記憶する中での過去分詞がどのようなスペルになるかのルールは定着すると思われる故にまずは数多く記憶すべきである。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: be 動詞 ＋ 過去分詞が受動態であることを理解していても日本語にした際に能動態的な表現になる場合があるので受動態を使うべきかどうかの判断をできないケースがあるので、それを明確にして習得を目標とする。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題

			b: have ＋　過去分詞が現在完了であるとの認識ができても、4 種の判別がなかなかできない場合もあるので、文全体の意味を考えようとしている。 c: 過去分詞を記憶する中での過去分詞がどのようなスペルになるかのルールは定着すると思われる故にまずは数多く記憶すべきである。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	
		話すこと （やり取り）	a: be 動詞　＋　過去分詞が受動態であることを理解していても日本語にした際に能動態的な表現になる場合があるので受動態を使うべきかどうかの判断をできないケースがあるので、それを明確にして習得を目標とする。 b: have ＋　過去分詞が現在完了であるとの認識ができても、4 種の判別がなかなかできない場合もあるので、文全体の意味を考えようとしている。 c: 過去分詞を記憶する中での過去分詞がどのようなスペルになるかのルールは定着すると思われる故にまずは数多く記憶すべきである。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: be 動詞　＋　過去分詞が受動態であることを理解していても日本語にした際に能動態的な表現になる場合があるので受動態を使うべきかどうかの判断をできないケースがあるので、それを明確にして習得を目標とする。 b: have ＋　過去分詞が現在完了であるとの認識ができても、4 種の判別がなかなかできない場合もあるので、文全体の意味を考えようとしている。 c: 過去分詞を記憶する中での過去分詞がどのようなスペルになるかのルールは定着すると思われる故にまずは数多く記憶すべきである。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: be 動詞　＋　過去分詞が受動態であることを理解していても日本語にした際に能動態的な表現になる場合があるので受動態を使うべきかどうかの判断をできないケースがあるので、それを明確にして習得を目標とする。 b: have ＋　過去分詞が現在完了であるとの認識ができても、4 種の判別がなかなかできない場合もあるので、文全体の意味を考えようとしている。 c: 過去分詞を記憶する中での過去分詞がどのようなスペルになるかのルールは定着すると思われる故にまずは数多く記憶すべきである。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	中間考査			
	19～20 うしろから修飾する文型 文の中の疑問文	聞くこと	a: 現在分詞、過去分詞の後置修飾と関係詞を関連づけて習得する。 b: 疑問詞で始まる疑問文を他の文に組み込むと語順や文の形が変わることを考えようとしている。 c: 直接疑問文を間接疑問文にする実践練習を数多くこなす。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: 現在分詞、過去分詞の後置修飾と関係詞を関連づけて習得する。 b: 疑問詞で始まる疑問文を他の文に組み込むと語順や文の形が変わることを考えようとしている。 c: 直接疑問文を間接疑問文にする実践練習を数多くこなす。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題

		話すこと （やり取り）	a: 現在分詞、過去分詞の後置修飾と関係詞を関連づけて習得する。 b: 疑問詞で始まる疑問文を他の文に組み込むと語順や文の形が変わることを考えようとしている。 c: 直接疑問文を間接疑問文にする実践練習を数多くこなす。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: 現在分詞、過去分詞の後置修飾と関係詞を関連づけて習得する。 b: 疑問詞で始まる疑問文を他の文に組み込むと語順や文の形が変わることを考えようとしている。 c: 直接疑問文を間接疑問文にする実践練習を数多くこなす。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: 現在分詞、過去分詞の後置修飾と関係詞を関連づけて習得する。 b: 疑問詞で始まる疑問文を他の文に組み込むと語順や文の形が変わることを考えようとしている。 c: 直接疑問文を間接疑問文にする実践練習を数多くこなす。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	21～22 誘う、頼むときの表現 いろいろなひとこと フレーズ	聞くこと	a: would like など丁寧な表現を身につけること、またその表現を使った受け答えを覚える。 b: 「賛成する、反対する、ほめる、励ます」などの表現、またその理由などの個人の意見や気持ちを伝えるフレーズを可能な限り記憶し、適切な場面で運用できるようにする。 c: 上記 2 点を踏まえたアクティビティで定着を図る。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: would like など丁寧な表現を身につけること、またその表現を使った受け答えを覚える。 b: 「賛成する、反対する、ほめる、励ます」などの表現、またその理由などの個人の意見や気持ちを伝えるフレーズを可能な限り記憶し、適切な場面で運用できるようにする。 c: 上記 2 点を踏まえたアクティビティで定着を図る。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: would like など丁寧な表現を身につけること、またその表現を使った受け答えを覚える。 b: 「賛成する、反対する、ほめる、励ます」などの表現、またその理由などの個人の意見や気持ちを伝えるフレーズを可能な限り記憶し、適切な場面で運用できるようにする。 c: 上記 2 点を踏まえたアクティビティで定着を図る。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: would like など丁寧な表現を身につけること、またその表現を使った受け答えを覚える。 b: 「賛成する、反対する、ほめる、励ます」などの表現、またその理由などの個人の意見や気持ちを伝えるフレーズを可能な限り記憶し、適切な場面で運用できるようにする。 c: 上記 2 点を踏まえたアクティビティで定着を図る。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: would like など丁寧な表現を身につけること、またその表現を使った受け答えを覚える。 b: 「賛成する、反対する、ほめる、励ます」などの表現、またその理由などの個人の意見や気持ちを伝えるフレーズを可能な限り記憶し、適切な場面で運用できるようにする。 c: 上記 2 点を踏まえたアクティビティで定着を図る。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	23～24 電話での会話 道案内の会話	聞くこと	a: 実用英語検定 3 級試験を模して、リスニング力の向上を目的にプラクティスを複数回実施した後で会話文をペアで作文させ、音読、暗記、プレゼンの流れで間違いをすることを気にしないレベルまでまずは促していく。その後実技テストまで実施して評価の一端とする。	リスニング プラクティス

			b: 23、24 ともに定型文としての表現が数多くあるので、それを習得することを、めざしてプラクティスやテストを可能な範囲で複数回数実施する。 c: 実技テストに向けて練習する。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	
		読むこと	a: 実用英語検定 3 級試験を模して、リスニング力の向上を目的にプラクティスを複数回実施した後で会話文をペアで作文させ、音読、暗記、プレゼンの流れで間違いをすることを気にしないレベルまでまずは促していく。その後実技テストまで実施して評価の一端とする。 b: 23、24 ともに定型文としての表現が数多くあるので、それを習得することを、めざしてプラクティスやテストを可能な範囲で複数回数実施する。 c: 実技テストに向けて練習する。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: 実用英語検定 3 級試験を模して、リスニング力の向上を目的にプラクティスを複数回実施した後で会話文をペアで作文させ、音読、暗記、プレゼンの流れで間違いをすることを気にしないレベルまでまずは促していく。その後実技テストまで実施して評価の一端とする。 b: 23、24 ともに定型文としての表現が数多くあるので、それを習得することを、めざしてプラクティスやテストを可能な範囲で複数回数実施する。 c: 実技テストに向けて練習する。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: 実用英語検定 3 級試験を模して、リスニング力の向上を目的にプラクティスを複数回実施した後で会話文をペアで作文させ、音読、暗記、プレゼンの流れで間違いをすることを気にしないレベルまでまずは促していく。その後実技テストまで実施して評価の一端とする。 b: 23、24 ともに定型文としての表現が数多くあるので、それを習得することを、めざしてプラクティスやテストを可能な範囲で複数回数実施する。 c: 実技テストに向けて練習する。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: 実用英語検定 3 級試験を模して、リスニング力の向上を目的にプラクティスを複数回実施した後で会話文をペアで作文させ、音読、暗記、プレゼンの流れで間違いをすることを気にしないレベルまでまずは促していく。その後実技テストまで実施して評価の一端とする。 b: 23、24 ともに定型文としての表現が数多くあるので、それを習得することを、めざしてプラクティスやテストを可能な範囲で複数回数実施する。 c: 実技テストに向けて練習する。その後ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	期末考査			

3	25～26 買い物・注文の表現 会話で使ういろいろな 疑問文	聞くこと	a: リスニングプラクティスで買い物の会話を聴くことでリスニング力の把握と評価につなげる。 b: 25、26 のいずれも実生活で数多く経験している場面での英語表現であるので理解は容易である故に数をこなすことでより自然なコミュニケーションができるように、より正確な音声を発することができるように取り組む。 c: 発展的に個別の受け答えができるようにする。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: リスニングプラクティスで買い物の会話を聴くことでリスニング力の把握と評価につなげる。 b: 25、26 のいずれも実生活で数多く経験している場面での英語表現であるので理解は容易である故に数をこなすことでより自然なコミュニケーションができるように、より正確な音声を発することができるように取り組む。 c: 発展的に個別の受け答えができるようにする。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: リスニングプラクティスで買い物の会話を聴くことでリスニング力の把握と評価につなげる。 b: 25、26 のいずれも実生活で数多く経験している場面での英語表現であるので理解は容易である故に数をこなすことでより自然なコミュニケーションができるように、より正確な音声を発することができるように取り組む。 c: 発展的に個別の受け答えができるようにする。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: リスニングプラクティスで買い物の会話を聴くことでリスニング力の把握と評価につなげる。 b: 25、26 のいずれも実生活で数多く経験している場面での英語表現であるので理解は容易である故に数をこなすことでより自然なコミュニケーションができるように、より正確な音声を発することができるように取り組む。 c: 発展的に個別の受け答えができるようにする。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: リスニングプラクティスで買い物の会話を聴くことでリスニング力の把握と評価につなげる。 b: 25、26 のいずれも実生活で数多く経験している場面での英語表現であるので理解は容易である故に数をこなすことでより自然なコミュニケーションができるように、より正確な音声を発することができるように取り組む。 c: 発展的に個別の受け答えができるようにする。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	27～28 長文　得点アップの ポイント 英作文のポイント	聞くこと	a: 長文の読解力を問う問題を解くために長文を黙読するのにかかった時間を個々に自分で測る。それを一回目、二回目、三回目と記録して読むスピードが速くなっていく過程、結果を実感する。読むたびに英文の内容に関する理解度も上がることを実感する。 b: 長文は大学入試などを対象としたものではなく実践的な長文を読む。 ポスター、メール、手紙　説明文などを読むことで実生活で英語を使う機会を設けるように動機づける。 c: 英作文に関しては、指示を守る（理由を２つ書くなど）質問に対する返答の場合には的外れな返答をしないなどを心がける。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: 長文の読解力を問う問題を解くために長文を黙読するのにかかった時間を個々に自分で測る。それを一回目、二回目、三回目と記録して読むスピードが速くなっていく過程、結果を実感する。読むたびに英文の内容に関する理解度も上がることを実感する。 b: 長文は大学入試などを対象としたものではなく実践的な長文を読む。 ポスター、メール、手紙　説明文などを読むことで実生活で英語を使う機会を設けるように動機づける。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題

			c: 英作文に関しては、指示を守る（理由を２つ書くなど）質問に対する返答の場合には的外れな返答をしないなどを心がける。	
		話すこと （やり取り）	a: 長文の読解力を問う問題を解くために長文を黙読するのにかかった時間を個々に自分で測る。それを一回目、二回目、三回目と記録して読むスピードが速くなっていく過程、結果を実感する。読むたびに英文の内容に関する理解度も上がることを実感する。 b: 長文は大学入試などを対象としたものではなく実践的な長文を読む。 ポスター、メール、手紙　説明文などを読むことで実生活で英語を使う機会を設けるように動機づける。 c: 英作文に関しては、指示を守る（理由を２つ書くなど）質問に対する返答の場合には的外れな返答をしないなどを心がける。	ワークシート 授業課題 授業観察
		話すこと （発表）	a: 長文の読解力を問う問題を解くために長文を黙読するのにかかった時間を個々に自分で測る。それを一回目、二回目、三回目と記録して読むスピードが速くなっていく過程、結果を実感する。読むたびに英文の内容に関する理解度も上がることを実感する。 b: 長文は大学入試などを対象としたものではなく実践的な長文を読む。 ポスター、メール、手紙　説明文などを読むことで実生活で英語を使う機会を設けるように動機づける。 c: 英作文に関しては、指示を守る（理由を２つ書くなど）質問に対する返答の場合には的外れな返答をしないなどを心がける。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: 長文の読解力を問う問題を解くために長文を黙読するのにかかった時間を個々に自分で測る。それを一回目、二回目、三回目と記録して読むスピードが速くなっていく過程、結果を実感する。読むたびに英文の内容に関する理解度も上がることを実感する。 b: 長文は大学入試などを対象としたものではなく実践的な長文を読む。 ポスター、メール、手紙　説明文などを読むことで実生活で英語を使う機会を設けるように動機づける。 c: 英作文に関しては、指示を守る（理由を２つ書くなど）質問に対する返答の場合には的外れな返答をしないなどを心がける。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	29～30 リスニングのポイント① リスニングのポイント②	聞くこと	a: 絵を見ながら会話を聴き、最後の文に対する答えを選択群から選ぶ形式のプラクティスを行う。 b: 一度だけで理解して正答できるかどうかを試す。 c: ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を練習する。その後、教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	リスニング プラクティス
		読むこと	a: 絵を見ながら会話を聴き、最後の文に対する答えを選択群から選ぶ形式のプラクティスを行う。 b: 一度だけで理解して正答できるかどうかを試す。 c: ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を練習する。その後、教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題
		話すこと （やり取り）	a: 絵を見ながら会話を聴き、最後の文に対する答えを選択群から選ぶ形式のプラクティスを行う。 b: 一度だけで理解して正答できるかどうかを試す。 c: ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を練習する。その後、教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ワークシート 授業課題 授業観察

		話すこと （発表）	a: 絵を見ながら会話を聴き、最後の文に対する答えを選択群から選ぶ形式のプラクティスを行う。 b: 一度だけで理解して正答できるかどうかを試す。 c: ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を練習する。その後、教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	授業課題 授業観察 プラクティス
		書くこと	a: 絵を見ながら会話を聴き、最後の文に対する答えを選択群から選ぶ形式のプラクティスを行う。 b: 一度だけで理解して正答できるかどうかを試す。 c: ここまでの既習事項を踏まえての英問英答を練習する。その後、教員と 1 on 1 で自主教材を使用して実施（英検の面接を模して）。	ペーパーテスト ワークシート 授業課題 授業観察
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度